

令和5年度第3回食の安心・安全意見交換会の開催結果について

令和6年1月26日
農 政 課

食の安心・安全に関する取組に府民の意見を反映させるため、府内の消費者団体を対象に食の安心・安全意見交換会を開催しており、今年度3回目となる意見交換会を開催しました。

- 1 開催期間 令和5年11月27日(月)～令和5年12月15日(金)
- 2 開催方法 書面開催
- 3 参加者 消費者団体4団体7名
- 4 テーマ 京都府食の安心・安全行動計画について
- 5 概要

(1) 主な内容

第6次京都府食の安心・安全行動計画の取組状況について

(2) 主な意見や回答

- Q. 府広報モニターへのアンケートでは、府の取り組みに対し満足している様子が窺えると感じました。
- A. アンケートでは、京都府の食の安心・安全について「安心」「どちらかといえば安心」に感じていると回答した人が約9割でした。また、アンケートにより得られた、府民の食の安心・安全への関心や傾向を、今後の府の取組の参考にするとともに、幅広く発信します。
- Q. 生食用食肉を販売している小売店では、衛生管理が大切だと思います。生食用食肉を販売しているお店への定期的な調査をお願いします。
- A. 昨年、腸管出血性大腸菌を原因とした食中毒事案が発生した際には、食肉販売店を対象とした緊急立入調査を集中的に実施しました。
今後も食中毒のリスクが高い生食用食肉を取り扱う府内17店舗については、保健所職員による通常監視に加え、食中毒の発生が多い時期に一斉監視を重点的にを行い、検査も活用した効果的な指導を継続します。
- Q. 野菜たっぷりメニューやアレルギー表示などに取り組む「きょうと健康おもてなし 食の健康づくり応援店」が増えるといいと思いました。
- A. 関係者と連携しながら店舗での表示や周知等を行い、府民自らが健康を考えたお店選びに生かしていただくとともに、飲食店における健康意識の向上を図り、健康的な食環境整備をすすめたいと考えます。
- Q. 特別栽培米など「環境にやさしい農業」により生産された米を買ってくれる人は確保できているのでしょうか。
- A. 特別栽培米などは、販売先が確保できている例がほとんどです。価格で折り合いがつけば、生産量が増加し、販売先も拡大していくものと考えます。